

とりまとめ案の子どもの意見聴取について

1. 方法

・形式

とりまとめ案の説明・子どもの意見の聞き取りは原則訪問し、対面で行う。
(コロナ禍で施設側が訪問の難色を示す場合はオンライン形式もあり得る。)

・実施者

構成員に意見聴取協力メンバーを募り、数グループに分けて実施。(やむを得ず構成員の日程の調整がつかない場合、構成員と調整の上作成した資料を用いて、事務局が実施。)

・対象者

極力対象児童の属性に幅を持たせるべきであるため、以下の要素が重複しないよう組み合わせた対象者選定(3箇所×4、5名ほど?)が必要か。

○場所：児童養護施設・里親家庭・一時保護所

○年齢：小学生・中学生・高校生でそれぞれ同数程度聞けると良いか。

○地域：構成員がコネクトしやすいと対象者決定がスムーズか。

関東(千葉?)・近畿(大阪?)・九州(大分 or 福岡?)

・手法

子どもの意見表明のしやすさや意見回収の効率を考え、インタビュー形式やアンケート記入形式が考えられるか。(どちらにせよ、オープンクエスチョンではなく、回答しやすい質問事項を用意することが必要。)

⇒回収方法に注意が必要。施設の職員がまとめたのち提出するのでは子どもの本音が聞けない懸念があるので、事務局が直接回収あるいは子ども自身が封筒に入れ、投函する形か。

・説明資料

とりまとめ案のポイントをまとめた概要版を作成。

また、上記の対象者によって使用する説明資料を変える必要があるか。(小学生には仕組みの概略図等、文字よりもイラスト重視でまとめる?)

・具体的な意見聴取の流れ

説明資料を用いてとりまとめ案の説明⇒子どもが回答⇒意見集約⇒とりまとめ案を調整

2. スケジュール

4月第1週（第9回WT終了後～）



構成員と方法等を調整・対象者の選定・打診

4/9（金）第10回WT：とりまとめ案（仮）セット

意見聴取グループ×施設・方法セット



説明資料・回答様式作成

4月第5週（4/26～）



意見聴取実施

5月第2週（GW明け）



5/21（金）第11回WT：意見聴取結果資料を基にとりまとめ案修正

⇒セット